

友だち募集中

全厚労公式
LINEでも
ニュース配信中!



全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5

TEL 03-3874-3591

FAX 03-3874-3593

発行日 毎月20日

<https://www.zenkouro.org/>

秋空に白衣輝くナースウェーブ 今年も横浜駅前で訴え響く



10月11～12日、全厚労は第36回看護集会を、昨年と同じく横浜ホテルプラムにて開催。全国から17県83名が参加しました。メイン企画の特別講演には、睡眠や夜勤交代制勤務に詳しい専門家、松元俊氏をお呼びしました（2面参照）。

その後、参加者は、白衣やスクラブ等の仕事着に着替え、横浜駅西口へ移動、全厚労・秋のナースウェーブ行動へ。30分間に170筆の署名を集めることが出来ました。中には一人で17筆を集めた強者もありました。

2日目は、秋厚労「職場環境改善のための3つの取り組み」と岐厚労「労働環境に関するアンケート調査」の2つの特別報告を発表。少人数のグループワークで、現場の状況や改善策を話し合い、まとめ集会では奇数グループに発表してもらいました。参加者のインタビュー記事を2面に掲載しています。



参議院議員事務所訪問



森まさこ議員事務所にて秘書の方と

総選挙まっ只中の10月23日、中央執行委員中心に14県28名で、参議院議員会館を訪問し、へき地医療を担う厚生連病院の現状を訴え、今こそ手厚い支援が必要なことなどを要請しました。

全厚連要請



10月23日同日に、中央執行委員ら20名で全厚連に要請し各道県連の実情など踏まえ、この春闘での賃上げ分を年末一時金で調整させないことなどを求めました。

厚労省交渉



11月5日、14県23名の中央執行委員で厚労省を訪問し、各種要求について要請しました。参加者すべての方が現場の状況から地域医療を守るために厚生行政の改善策を提案・発言しました。（4面参照）

夜勤・交代制労働

研究データに基づく確かな知識を

第36回看護集会



松元俊さん

第36回看護集会には、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所の松元俊さんにお越しいただき、「看護師が安全に健康に働き続けるために必要な不規則勤務スケジュール見直しの提案」を知っておきたい夜勤・交代勤務のあれこれ」と題しご講演頂きました。

講演では不規則勤務や夜勤、長時間労働、睡眠不足などが身体や生活に与える影響について、多くの研究結果を基にグラフやデータを示しながら解説。現場での2交代勤務への提案や、休憩の取り方など参加者からの質問にも丁寧に助言して頂きました。

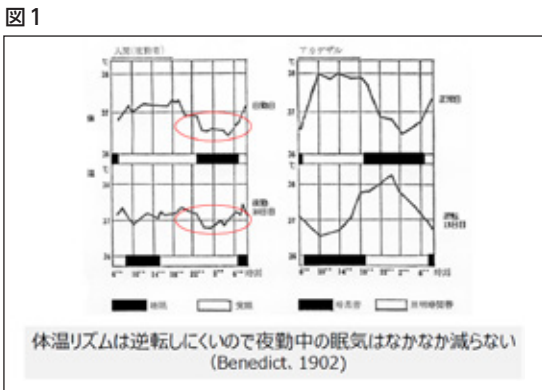


図1

図1は、夜勤を10日継続しても、体温が低いところが夜中にあり続けるということを示したものです。過去に「身体を夜

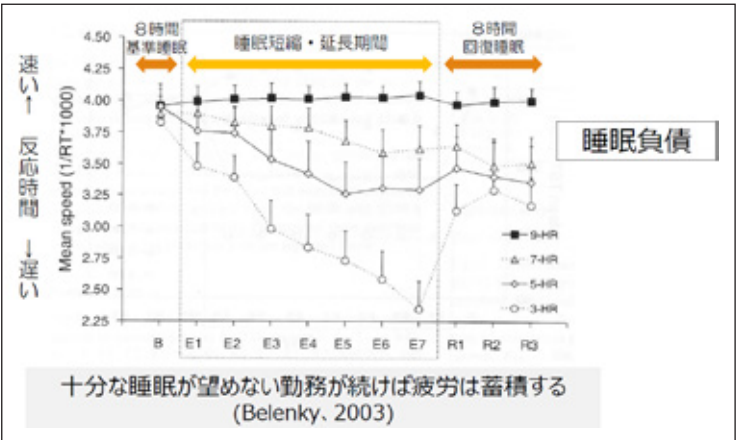
勤に適応させれば問題ない」との視点から、1カ月ほど夜勤を連続させる働き方が米国でみられました。しかし、この研究で夜に働いている生活でも体温は上がりきらない

ということから、徐々に適応はしていくが完全に適応は難しいことが分かり、リズムを適用させることとは別の対策が必要と指摘されました。図2は過去に流行語になった「睡眠負債」についてのもので、1週間睡眠負債が続くと8時間睡眠に戻したとしても、

「組合員専用」ページで
レジメ・動画が
視聴可能
(パスワードは
各単組本部まで)



図2



参加者の声

第36回看護集会の
参加者にインタビュー
をお願いしました。

- A「参加したきっかけ」
- B「参加しての感想」

鈴木 由美子さん

(福厚労白河支部中央執行委員・看護師)

A 昨年も看護集会に参加し、もう一度参加したいという思いで、今年も横浜へ来ました。

B 1日目、松元先生の講演では、夜勤の睡眠の質など働く条件などが、私の中でとても考えさせられました。

ナースウエーブでは、人混みの多い横浜駅前での署名活動でしたが、幅広い年齢層の人達に医療現場の声を届けられたのではないかと思います。心に響く人響かない人はいれたと思います。署名にサインしてくだ



グループワーク発表にて

さる方は、比較的高齢者や医療に興味を持ってくださる方だったように感じます。この小さな積み重ねが、いつか結果につながると確信しています。

2日目のグループワークは働く人の減少に対し、患者の増加問題についての対策や意見を話し合えるよい機会となりました。2日間、全国各地の厚生連の方との交流は、新鮮で働く意欲やパワーに繋がりました。是非、今後も看護集会を開催してほしいと思います。

西尾 孝一さん

(長厚労あずみ支部・長厚労中央執行委員・看護師)

A 当院は現在、看護師が不足しており、スタッフから諸手当や労働環境に対する不満も多く聞かれます。今回、組合執行委員としてだけでなく、管理職の一端を担う立場としても全国の看護師の実情を学びたいと考え参加しました。

B 特別講演では、看護師の不規則な労働時間が心身に与える影響や、労働環境の改善のヒントを具体的なデータをもとに学ぶことができました。横浜駅前の署名活動では、「いつもお世話になってます。ありがとう、大変なお仕事だけど頑張ってるね」と多くの方から励ましの言葉をいただきました、とても嬉しく

安藤 綾花さん

(三厚労鈴鹿中央支部看護委員・看護師)

A 同じ職場の主任さんから誘っていただき、他の病

院の現状や取り組みはどのようなものか知りたかったため、今回参加させていただきました。

B ナースウエーブでは、実際に「署名いただいた際に」「いつもありがとうござ

います。ありがとう、大変なお仕事だけど頑張ってるね」と多くの方から励ましの言葉をいただきました、とても嬉しく

矢山 由起子さん

(広厚労尾道支部執行委員・保健師)

また、2日目のグループワークでは、どここの病院も人員不足が問題となっており、病院に応じた対策はとられていたが、人員の増員が不可欠であることも明らかであったので、今後もナースウエーブ等の活動で周知していくことが大切だと実感しました。

A 今回の看護集会の参加のきっかけは、ナースウエーブ(街頭署名)に参加したい気持ちと、全国の仲間の情報を久しぶりに聞きたいと思ったからです。

B 街頭での署名活動では、たくさんの方が足早に通り過ぎて行く中、数名、こちらへ近寄ってきていただいた。「娘が看護師なんです」「私、看護学生です」「私は介護認定うけるからね」とお話しされ、「大変ですね、頑張ってください」と、とても励まされるお声をかけてもらいました。

複数人、足を止めてくださった方には、すぐに周りの署名板を持っていく仲間に声をかけ、短い時間でもタイムロスのないよう、同時に書いて



広厚労で集合写真 (前列右から2番目)



夕食交流会での三厚労の皆さん (写真最右)

てもらった連携プレイで、一筆でも多く集められたかなと思いました。

私は、核兵器なくそうの署名をニューヨークで行った事があるのですが、言葉がうまく出てこなくて(英語が苦手)強張った顔でしかできず、悔しい思いをしました。今回は日本語！笑顔忘れずに声をかけ、その効果が思っていたよりたくさんさんの署名をいただけになりました！

署名後に「衆院選が近々ありますので、国民の権利行使しましょうね！」の一言も忘れずに…。

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第201回は福島・広島にお願いしました。

こんにちは！福厚労で看護師をしています、丸山将季です！

今年度から、青年部長を務めます！
福厚労青年部はとにかく、やる気・元気・活気に満ち満ち溢れている人ばかりです！
多趣味な人達が多く、僕も野球を通してたくさんの人たちと交流を図っています①
ちなみに、ポジションはキャッチャーであるため、組合でも、職場でも扇の要！！的な存在になれるように日々精進していきたいです。

これからも福厚労の丸山をよろしく願います。



福島 丸山将季さん



広島 梶谷真也さん

広島労吉田支部の梶谷真也さんを紹介いたします。10月で副支部長2年目を迎えた梶谷君は薬剤師として業務に従事し、医療安全管理委員会の中心メンバーとして活躍しています。組合活動では様々な出来事にスピーディー、冷静沈着に対応し、支部長が困って右往左往しているときもさりげなくフォローでき、とても頼りになる存在です。病院を離れると3人のお子様のお父さんとしてプライベートも充実させています。いつも前向きな梶谷君と活動できることは役員間で良い刺激となっています。今まで以上に役員間で学習し議論する機会も増え、心理的安全性が高い組織になったとうれしく思っています。これからも期待しています。

当選者（読者の声掲載者含む）15名様に図書（クオ）カードを差し上げます
答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。9月号の答えは「チイサイアキ」で、当選倍率は5・2倍（クロスワード・聞かせて、読者の声計15名当選）でした。

- ヨコのカギ
- 1 サンタさんの衣服の色
 - 3 胃や腸、肛門などの器官を何という？
 - 7 電話。……サービス
 - 9 ……告発。……監査
 - 10 対義語は「硬化」
 - 11 フック船長の左手は…爪（づめ）
 - 12 が・ざ・だ・ば行などのにぎる音
 - 14 12月8日は……供養
 - 15 Fは地上、地階は？
 - 16 赤鼻の……
 - 18 「……と雪の女王」
 - 19 電気。……ギター
 - 21 自分が卒業した学校
 - 23 対義語は「怠慢」
 - 24 スキーは……スポーツ
 - 25 「ガラス」の古名

クロスワードパズル「ザ・クロスワード」の出題と解答。出題はモロズミ勝。解答はAからFまでの文字。

- 【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに？
- 1 タテのカギ
 - コレがないとお届け物をは迷子に？
 - 暦。七曜表とも言う温故知……
 - かば焼きの代表忘年……。新年……
 - 衣服を着ると、実際に太って見えます動物を生けぞること木をけずる大工道具一人前に成長した人水準が高いこと
 - 「……暇なし」
 - 燃える火の炎
 - ……の呼吸で双方一致お金につく利子の割合滝登りをする魚
 - ……ボードをたたく

読者の声

いつも苦労様です。10月も後半、やっと涼しくなってきました。夜勤をしているとスズムシの鳴き声が。古い病院なので、近くの床に居たりします(汗) (福島)

――夜勤は重労働。夜勤の負担を軽くすることが、人手を呼ぶ一つの処方箋だと思ふ。スズムシの応援も風流なり。 (HT)

――星が見たくて少しだけ標高の高い場所へ行きました。話題のアトラス彗星は見られませんでした。満天の星と流れ星を見ることができ、感激しました。 (北海道)

――雄大な自然の中で過ごすひとは日常の疲れをとる貴重な時間になったのではないのでしょうか。私もいつか北海道で星空を眺めてみたいです☆ (OK)

――星が見たくて少しだけ標高の高い場所へ行きました。話題のアトラス彗星は見られませんでした。満天の星と流れ星を見ることができ、感激しました。 (北海道)

――雄大な自然の中で過ごすひとは日常の疲れをとる貴重な時間になったのではないのでしょうか。私もいつか北海道で星空を眺めてみたいです☆ (OK)

――星が見たくて少しだけ標高の高い場所へ行きました。話題のアトラス彗星は見られませんでした。満天の星と流れ星を見ることができ、感激しました。 (北海道)

――雄大な自然の中で過ごすひとは日常の疲れをとる貴重な時間になったのではないのでしょうか。私もいつか北海道で星空を眺めてみたいです☆ (OK)

聞かせて・教えて!のコーナー

☆9月号で募集した「聞かせて・教えて」の結果発表☆

質問1 9月号で一番興味があった面は？

最も票が集まったのが第72回定期大会の内容と全厚連新理事長との懇談が掲載された1面29票。次いで定番の3面24票、定期大会の発言一覧2面8票、特徴ある各県定期大会の様子について4面7票となりました。

質問2 ズバリ!政府に対する要求は？

最多「最低賃金引き上げ・地域間格差の解消」が25票、次いで「医療・介護・保育の充実」が23票、「消費税増税中止、大企業・富裕層への課税強化」は19票、その他1票となりました。最低賃金の引き上げは医療労働者にとっても、地域医療を担っている厚生連にとっても重要な要求であることが分かりました。

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 11月号で一番興味があった面は？

A=1面 B=2面 C=3面 D=4面

質問2 冬に行きたいスポットは？

A=温泉・サウナ
B=ウィンタースポーツ
C=イルミネーション
D=その他（コメントお寄せください）

全厚労X
全国の活動を
ポスト中!



読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品（図書カード又はクオカード）は必須事項です。

教宣部のつぶやき

デジタル化に向けて全厚労ニューデジタル号は見てもらっているのだろうか？デジタル号になると「読者の声」投稿が極端に減ってしまう。全厚労公式LINEも思うように登録が伸びない。紙も使い勝手は良いけど費用が掛かる。コスバ重視でデジタル化に踏み切ったが…誰か助けて下さいー!!皆さんの意見を聞かせて下さい。 (KU)

喰う門は福来る？
カクイシ シュンスケ



与党過半数割れで、姿勢に変化も

24秋・厚労省交渉で現場から積極提案



以前より真摯に受け止める様子の厚労省（写真右手前）

11月5日、全厚労は秋闘での厚労省交渉を中執他23名の参加で行いました。直近の総選挙で与党が過半数割れを起こしたばかりの状況で、政府の対応が今度どのように進むのかは不確かなところではありますが、医療・介護現場の実態改善はまさに「喫緊の課題」との厚労省側の真剣な受け止めを感じる雰囲気がありました。要求が実現するまで、「声を上げ続けること」の重要性も感じられる交渉になりました。

今回の要請の柱は、24年度診療報酬改定で新設された「ベースアップ評価料」が、ほとんど「ベア」実施に至らず、かつ不十分なこと。また多くの医療機関・施設が、光熱費増・物価高等の影響を受けて厳しい経営状況にあるなかで、大幅賃上げには「国費による支援」と、ベア評価料の制度改善を含めた臨時報酬改定（引き上げ）が必要だとを要求しました。

また中央執行委員の中で、も、リハビリ職が増える中で、初めて「リハビリ職の処遇改善」も新たに引き上げました。その他、診療報酬制度による「働き方改革」の推進や医療DXへの対応、診療報酬制度の抜本的改革、病院薬剤師の確保などの要求についてもやり取りしました（要請書の内容は右下のQRコードから）。

命もめる資格職としてのベースアップを

厚労省は「賃上げは喫緊の課題」とするものの、今回の「ベア評価料」について、医療機関の申請数や、具体的な賃上げ額のデータはまとめていないと回答しました（各地方厚生局では把握しているとの説明）。

要請団は、「ベア実施は少なく、手当での対応がほとんど。民間企業の賃上げと比べても立ち後れている」、「赤字経営が続く、年末一時金での調整も囁かれています。年収ベースでの引き下げになれば元

秋田からは、「県の最賃は全国最低だが、それでも1日8時間、月20日働けば、月収15万円弱。看護師初任給19万と4万程しか変わらない。資格を持つて人の命を守る職業の賃金はその程度でしかない。もっと医療職の賃金ベースを上げる報酬にして欲しい」と要請しました。

リハビリ職への評価をもっと上げて

新たな「リハビリ職への処遇改善」に関しては、現場か



初参加で訴える堀野中執（高知）

ら「若いリハビリ職は働く意欲に燃えているが賃金がネツクになり、離職している」、「在宅復帰に向け、農作業が出来るように専門性を持つてリハビリに取り組んでいる。きちんと評価してもらいたい」などと訴えました。

厚労省は、「質の高いリハビリを提供するため、関係職種の方々の果たす役割は大変重要と考える。診療報酬改定では、急性期でのリハビリ・栄養・口腔連携体制加算の新設などを行った。今後も現場のご意見を踏まえて、入念な議論とともに中医協での検討を進めたい」としました。

声を出し続けることが変わる

交渉後に行った総括会議では、「以前より耳を傾けるようになったのでは」との感想も。与党過半数割れという政治的緊張も影響しているように、全厚労からの具体的な提案に対して、傾くような対応をする担当官も見られたのが今回の交渉の特徴だったかと思えます。

岩本委員長は、「若手官僚に今訴えていることが、彼らが主要なポストに就き始める5年後くらいに実を結ぶことになる。しっかりと要求し続けていくことが遠く思えて、一番の近道だ」と行動のまとめを行いました。

厚労省への要請書



ドクター山本晴義の

心の相談室（12）

食欲は健康のバロメーター



山本晴義先生

食欲の秋という言葉は、日本では江戸時代から使われています。夏の暑さで食欲が落ちた人々が、涼しい秋になって食欲が戻り、稲刈りや収穫などで忙しくなって、食糧が必要になったことから生まれた言葉です。

皆さんの食欲はいかがでしょうか。食欲があまりとつかない、ご飯がおいしくないという場合は心身からの危険信号かもしれません。また、食べられないわけではないけれど、食べたいの思い浮かばないという場合も実は要注意です。

食欲は健康のバロメーターです。食欲が止まらない原因の一つに睡眠不足が指摘されています。睡眠不足になると食欲を刺激するホルモン（グレリン）の分泌が促進し、食欲を抑えるホルモン（レプチン）の分泌が減少します。

食欲はまさに健康のバロメーターです。食欲に関する不調を感じたら、まずは生活リズムに注意してみましょう。睡眠を増やして規則正しい生活リズムを心がけることで、正常な食欲に戻りやすくなります。食欲の秋を満喫しましょう。

各県大会に参加して（4）

新潟 困難な時こそ、団結を固めて

10月18日、第73回新厚労定期大会が新潟市の県自治労会館で開催され、来賓として参加してまいりました。



決意表明する新執行部のみなさん

JA新潟厚生連は、赤字の拡大により、来年度にも資本が枯渇しかねないと、先日の会見の様子が報道され、全国にも伝わっています。会からは修正事業計画が提案され、役員報酬や医療再編推進等を含めた改革方針が示されました。今後、一時金など処遇減額の影響が考えられる中で、現場に働く職員の日々の過酷さが、代議員の大会発言でも多く訴えられました。

新潟厚生連は、県内では県立病院と並ぶ規模・病床数を持ち、多くの職員を抱え、地域医療を支えています。新厚労の組合員はもちろん、職員の賃金・労働条件改善などには人員確保はおろか、離職の歯止めも効かなくなる事態が危惧されています。なんとか現状を打開し、医療・介護の運営を継続するために、「やれることは何でもやろう」という決意を役員・代議員ともに確認した大会でした。

多くの困難はあるものの、和田執行委員長の「団結ガンバリ！」で新年度体制の士気を高め合いました。

（全厚労 花澤直樹 記）